

在京独逸大使ニ対スル外務大臣通告覚

昭和一六 七一
連絡会議決定

左記ヲ「リツベントロツ」之外務大臣ニ御傳達アリタシ

本大臣ハ在京「オット」大使及在独大島大使ヲ通シ為サレタル閣下ノ要請ヲ敬承シ且ツ右要請ヲ日本政府ニ為サルルニ当リ並ヘラレタル閣下ノ見解ヲ慎重ニ検討セリ

本大臣ハ日本ハ独逸ト共ニ赤化ノ脅威ト積極的ニ戦フ為ニ「ソ」聯邦ニ関シ有ユル起リ得ル事懸ニ対シ準備ヲ進メ居ル旨ヲ述フルコトヲ欣幸トス日本ハ豫テヨリ東部「シベリヤ」ニ於ケル共產主義組織ヲ破壊スルノ決意ヲ有シ特ニ同方面ノ状況發展ヲ注視シ居レリ右ノ目的達成ト共ニ極東方面ニ於テ「ソ」聯邦ヲ其ノ対独戦争ニ関シ牽制センカ為軍備ノ増強其他ノ手段ヲ講スルコトハ日本政府ノ絶エス留意シ居ル所ナルコトハ敢テ附言ヲ要セサルモノト信ス右ト同時ニ予ハ日本政府ニ於テハ佛領印度支那ニ於ケル軍事基地獲得方決定セル旨ヲ通報セントス

其ノ結果日本ハ右兩國ニ対スル圧力ヲ強化スル次才ナリ右ト調聯シ本大臣ハ日本カ南西海面ヲ含ム大洋ニ於テ常ニ監視ヲ行ヒ英米ヲ牽制シ得ル事莫ニ付閣下ノ注意ヲ喚起セント欲ス

日本ハ右努力ヲ続行シ必要ノ場合ニハ更ニ之ヲ強化スヘシ本大臣ハ右力莫ニ吾等ノ共同目標ニ対シ重要ナル貢獻ヲ為スモノニシテ此ノ際日本ノ独「ソ」戦争介入ニ劣ラサル重要性ヲ有スルコトニ付テハ閣下ニ於テモ全然同意見ナルヘシト信ス

日本ハ南方ニ対スル努力ヲ輕減スル能ハス又輕減セサルヘシ右ハ結局戦局全体ニ対シ種メテ重大ナル影響ヲ有スル次才ナリ本大臣ハ独伊兩國力近ク戦勝ヲ博サレンコトヲ確信ス本大臣ハ茲ニ再ヒ日本政府力三國条約ノ目的及精神ニ基キ行動スヘキ旨ヲ閣下ニ対シ確言ス

在京「ソ」聯大使ニ対スル外務大臣回答

昭和一六 七一
連絡會議了解

本大臣ハ茲ニ閣下ニ対シ日本カ今回不幸ニシテ勃発セル独「ソ」戦争ニ対シ当然深甚ナル関心ヲ抱クモノナリ

率直ニ述フレハ日本ハ一方同盟國タル独伊他方即漸ク近來善隣有好ノ關係ヲ維持セントスル眞摯ナル國交ヲ進メタル「ソ」聯邦トノ間ニ戦争勃発ニ直面シ日本ハ甚シク當惑シ居レリ

斯クノ如キ次才ニテ日本ハ敏對行爲ノ終結ニ付関心ヲ有スル所右カ少クトモ日本ノ重要利害ヲ有スル極東近接地帯以外ノ地域ニ限局セラレシコトヲ切ニ希望スルモノナリ日本政府ハ此ノ機會ニ於テ其ノ對「ソ」政策ハ日本同盟國ニ對シ何等誤解ヲ生セシメサラントスル自然ナル顧慮ヲ除キテハ之ヲ修正スルノ必要ニ迫ラレ居ラスト認メ居ルコトヲ茲ニ述ヘントス

日本政府ハ其ノ利害ヲ擁護スルト共ニ同盟國トノ間ニ相互信賴ノ精神